



まのりくはまはるもむらりし入るるもく

住吉志貝 同所海邊ニアリ

同 住吉志貝 同所海邊ニアリ

遠里小野真榛 同郡遠里小野村ニ属ス往昔西

海ノ諸船此木ヲ見テ所知方角也ト云傳タリ

轉法輪石 東生郡四天王寺金堂前ニアリ禮拜

石引導石 景向石ヲ加テ四石ト云寺記ニ論之

就中此轉法輪石ハ所載ニ本願縁起也寺記ニ
引書スルヲ以テ于是略之

王柏石 西成郡ニ属シ難波ニ限ルノ俗説アリ

修奇林石 茂草ニ云修奇林石ハ奇ニ難波江ノ邊ニ

ありしと云玉柏石ハ景行天皇十二年はく

幸しく柏石乃大也と云

野田藤 同郡野田村真入菴ニアリ世俗言野櫻

野田藤 同郡野田村真入菴ニアリ世俗言野櫻

去云々 古伝日記も云く二月廿三日辰時にのり
 出く能因法師と云く河尻入 七日六川尻の
 川に渡り清の河に於て水にまじりて水に
 入河乃ほくく入まつて多き水の故に
 九日つりあふりあまぬく船は行はくよれ
 あけきこいりあめいりふゆりや和州の御
 河乃ほくく入まつて多き水の故に
 河内国ニあり 今按ニ八月二鳥
 養ノ御牧ニ至リ翌日汀ニ至ルコト所見河ノ
 隔絶ナリ然ルニ亦和田泊ハ西成郡大和田村
 ノ濱ヨリ外ニ和田ノ地名ナシ矢田郡郡兵庫

和田岬ハ大坂ノ津ヨリ十里シ西ニ隔如毛潮
 海ナレバ河ノ水ト云ニ不同西成郡大和田モ
 今ノ河尻ヨリ少西ニ當ル然ラバ今謂江口ハ
 昔ノ河尻ニシテ和田ノ号ハ別ニ隱タル歟今
 ノ水尾木ハ大坂ノ西安治川新川ノ下波除山
 瑞賢山ノ西ニアリ河尻川堀江川ニモ論之
 五三 後撰 十五 拾十 二意
 能因櫻 嶋上郡古曾部村ニアリ邂逅山金龍寺
 記並ニ土俗ノ所謂能因法師櫻ヲ愛シ山寺

能因櫻

ノ春ノ夕暮ノ詞アリト云リ所載于羅山文集
兵部大輔大江公資五条東洞院宅庭有大櫻樹
毎年能因自京曾部入洛往玩其花花亦依人而
其名稱顯云成合村金龍寺記其部二然リ
冠柳 同郡冠村ニアリ柳ノ梢冠ニ似タルヲ以
テ号之今ハ地名ト成リ 惠慶法師家ノ茶室
縁波ノ夕暮ノ詞アリト云リ所載于羅山文集

連理枝 有馬郡香下村ニアリ柏大樹根ハ下ニ
交リ中ハ二二分レ上ハ枝葉相合リ一名相思
樹トモ云リ連理枝相思樹比翼鳥ノ故実ハ續
歌林良枝集ニ詳ナリ證歌此樹ヲ指テ讀ルニ

ハ非下云凡其始アルヲ以テ是ニ非書ス

良枝 秋ノ夕暮ノ詞アリト云リ所載于羅山文集

同 傳ノ夕暮ノ詞アリト云リ所載于羅山文集

松風 能國法師歌枕攝津國名所ニ比ス方角所

指所立部不詳因テ雜類ニ置リ

告礪石 住吉郡住吉邑淨土寺院内ニアリ當院

開基ノ時礎礪石等ヲ玉津島ニ求ム神惜之津

守國基和歌ヲ捧ク神是ニ感得玉ヲ所好之石

住吉磯ニ可寄之告在テ寺既ニ成ヲ以テ号之

生石 同所神社ノ側ニアリ所載于後太平記

右大將賴朝公丹後局ニ馴テ懷胎北御方妬之

本多何某二仰七由井濱ニテ殺害スベキ由シ
 兼リ又不便ノ事ニ思惧シテ鎌倉ヲ忍登リ當
 社ノ側ニ至ル時頻ニ悩煩フ本多勞之禱シ批
 石ニ懸テ暫神ニ祈シ以テ易ク産ノ紐ヲ解テ
 男子ヲ生リ千時建久元年十月三日頼朝公上
 洛ノ序本多告之悦不斜伊賀伊勢兩國ヲ賜フ
 同十三年大隅薩摩太守トシテ鳴津三市忠久
 ト号ス夫ヨリ鳴津家相續トアリ至干今墻ヲ
 造リ津連ヲ曳夜燈ヲ置事鳴津家ヨリ祭之
 夢想藤 同郡坂津大黒町金光寺境内ニアリ人
 皇百一十代後小松院御宇批花ノ盛ヲ獻聞マシ

くら帝都ニ移植シメ玉フ藤樹ノ精靈旧地
 慕フ御夢ノ事アリ因テ震籟ノ御製ヲ賜テ曰
 土ニ反植テ枝葉再榮へ花ハ地ニ垂リト云リ
 林寺蛙岩 東生郡林寺村民家ノ裏ニ在テ鳥虫
 ノ類是ニ留レハ石ノ頂ニニ割テ口ヲ開カ如
 鳥虫ヲ墜入テ亦元ノ如ナルヲ以テ殺生石ト
 毛云傳タリ
 影向石 同郡四天王寺東門ノ下ニアリ批所ハ
 東方ノ諸天王影向シテ四天王寺伽藍卍創ノ
 助護シ給フノ處ナリ因テ影向印ノ石ヲ殘リ
 禮拜石 同所南大門ノ内ニアリ從是紀州宇妻

長崎洋史 卷之十一

郡熊野神前ニ相向シ以テ印石ヲ置テ号之ヲ
引導石 同所衝門ノ内ニアリ當莊ノ人民死シ
葬送スルニ此石ノ邊ニ棺ヲ置シメ無常院ノ
鐘ヲ撞リ千時太子聖靈影向在テ引導シ給フ
トナリ因テ号之以上三石並ニ始ニ記ス傳法
輪石ヲ加テ天王寺ノ四石ト云リ
合法衢 同郡天ニ寺村相坂ノ下ニアリ昔聖德
太子佛法興隆ノ時守屋連破賊ト成テ比争之
處ヲ以テ合法ト号ケタリト云傳リ
七不思議梅檀 同所ニアリ三水四石ノ七不思
議ハ四天王寺ノ院中ニアリ此標ハ一本ニシ

テセノ名ヲ持ツト並ニ此檀ノ木ヲ御所ノ内
ト云傳タリ一説聖德太子天王寺竹創ノ時假
ニ宮造タル處標モ亦數年ノ星霜ヲ經ルト云
氏枝葉相同キヲ以テ七ノ不思議ヲ集合テモ
猶餘アルノ儀ニ因リト云リ故實本證不詳
谷町藤 大坂ノ市中谷町ノ地ニアリ昔此處ニ
池在テ或人愛子シ池中ニ失リ其兒常ニ藤ノ
花ヲ好リ因テ池ノ側ニ藤ヲ植テ靈魂ヲ問フ
後世池ヲ埋ミ地ヲ開キ側ニ就テ小堂ヲ攝ヘ
觀世音ヲ安置シ藤ノ棚ヲ造リ枝葉次第ニ溥
り手折ル時八尺地ニ餘リ藤ノ頃群ヲ成ス律

昔ノ池水空ニ登ル狀ト疑フ
 鎮座石 同所石町ノ地ニアリ神社門ニ詳ナリ
 難波蘆 西成郡ニ屬ス或ハ河邊郡尼崎ノ廻リ
 嶋々ニ生タルモ莖葉同クシテ片葉也世俗難
 波ノ蘆ハ伊勢ノ濱萩ト云ノ謗アリ片葉ニ生
 タルヲ勢州ニ於テ濱萩ト云ハナリ
 延喜式卷第十六曰凡追雛料桃弓杖葦矢令守
 辰丁造備其矢料蒲葦各二荷振津國毎年十二
 月上旬採送云々

十一 是の國に難波の蘆の生るる所を以て我處人を知るや 貫之
 續子 十 七 此の蘆は難波の蘆の生るる所を以て我處人を知るや 貫之
 御製

續子 十三 香乃梅 同郡九条村竹林寺ニアリ香西哲雲老
 人當寺修造ノ時此梅ヲ植テ難波津ノ香ノ梅
 ト号ク和歌ヲ依リ花ヲ折添テ鳥丸光廣卿ニ
 遣ル光廣卿反歌ヲ賜ヒ終ニ名木ト成リ其歌
 是ニ顯レ寺院ハ其部ニ比ス

御旅藤 同郡戎鳴天神御旅社地ニアリ枝葉紫
 蔓薄リ花ハ地ニ垂テ人盛ク不後群ヲ成リ
 神明藤 同郡曾根崎村ノ東太神宮ノ社内ニア

リ花ノ盛ニ興ヲ催シ店下ニ暑悉ル處ナリ
天神藤 同郡天神社地ニアリ表門ノ側裏門ノ
側兩處ニ植テ近歲蔓葉店ニ溥リ花ハ地ニ垂
テ店下ニ醉ル人多シ
濱火 同郡濱村ノ墓所ヨリ兩夜ニ出ル火竈也
所傳云昔此處ニ貪欲ノ土民在テ常ニ此墓所
ニ隱忍テ燭卒都婆ヲ破リ或ハ火葬ノ燒神ヲ
盜採テ已カ竈ニ燒テ神ヲ穢シ終ニ罰ヲ請テ
其罪ヲ消死スルノ猛火也中頃當所源光寺ノ
僧惠觀融通大念佛一千日ノ執行爲之罪ヲ謝
スルノ後火炎勢薄ク出ル事邂逅ナリ

尼之火 同郡海老江村尼之洲ヨリ出テ野邊ニ
巡ル火竈也多ハ兩夜ニ出一説山伏火氏云リ
尼之洲ノ所傳池ノ部ニ詳ナリ
主馬火 同郡木津村ニアリ大手鞠ノ如ク兩夜
ニ飛テ野邊ニ巡ル火炎也信長公ノ家臣於是
追討ニ討タル猛火也ト所傳セリ戰記不詳
神輿 同郡今宮ノ村民山城國祇園神社六月
祭禮ノ時神輿ヲ舁ノ来由ハ往昔神輿洗ノ時
爲洪水漂流シテ勝間浦ニ寄タリ今宮村民衆
揚之先戎社ニ遷シテ後浴ニ送り終ニ歲事ト
成ノ所傳タリ

成合、檉、嶺、嶋上郡成合村ニアリ當所ノ村民毎
 年正月會合シテ嶺ヲ煮セ管三本ニ早苗中苗
 奥苗ノ札ヲ附テ件ノ嶺ノ釜ニ入テ共ニ煮之
 其嶺管ノ中ニ入ル分墨ノ多クハ以テ種ヲ落ハ
 年料萬倍スルト云リ世俗成合ヲ奈利和比ト
 稱スルモ農ノ歳事ヨリ出タル歟
 鳥養書流 同郡鳥養村産六九衛門書始ルノ系
 蹟一流ナリ因テ能書ノ數ニ入テ世ニ學之
 金甌岩 同郡成合村金甌寺山内アリ依形号之
 仁王石 同郡大澤村根本山神峯仙寺山内ニア
 リ所傳寺記ニアリ于是略之

笈笛懸石 同所山内ニアリ所傳寺記ニ然リ
 日光坊火 同郡高槻邨ヨリ兩夜ニ出ル火鬼也
 往昔熊野山行者日光坊舊栖ノ地或時行法ヲ
 誤ル一派ノ山卧先達ニ訶終ニ被處法罪之墳
 ノ跡也ト云リ一説法ヲ破ルノ山卧二人共ニ
 同罪タルヲ以テ火炎ノ中ニ頭兩ノ形容ヲ見
 ト云リ因テ一名ニ龜坊火ト云リ遙ノ野外ニ
 飛或ハ樹上ニ留ル事暫アリ人迹之亦遠去リ
 虎宮火 嶋下郡別府村虎宮跡ト云處ヨリ出テ
 片山村ノ樹上ニ留ル火鬼也多ハ兩夜ニ出逢
 大火繩ヲ見レバ必消トナリ虎宮或ハ奈草岐

宮上彌不是則曰先坊之下族其臘ヲ祭神ト云
ル俗傳アリ延喜式武庫郡名次神ヲ祭ル歟
紅梅狐 同郡吹田村ノ野狐ナリ年ヲ積事久シ
紅梅ヲ手折テ化人因テ号之或ハ毛色赤ヲ以
テ号氏云リ人不成害報ヲ成コトナシ
白井螢見 同郡郡村白井水邊ニアリ螢火大ニ
シテ星ノ地ニ降ルガ如シ時ヲ候テ群ヲ成事
宇治勢田ニ劣ナレト説天正年中明智日向守
一族戦死ノ火災也ト云リ
九重櫻 豊嶋郡野畠村ニアリ土俗和歌ニ作ル
八重一重ノ名花トス櫻井ハ井水ノ部ニ論之

影向石 同郡萱野村如意輪寺院内ニアリ觀音
菩薩影向ノ靈石ナリ寺記其部ニ詳也
藥師岩 同郡大宮寺山内ニアリ勝尾山勝如上
人ハ時原依道ノ子豊嶋郡ノ産幼年ヨリ出家
シテ父母ニ不見久シテ後依道ノ塚ヲ尋テ當
山ニ登ル地主牛頭天王出現シ王ヲ教之曰是
則所尋之古墳ナリ上人合掌觀念ノ中忽チ巖
ニ藥師佛ノ像ヲ現玉ヲ靈石也佛像今猶然リ
大黒石 同郡勝尾寺山内ニアリ此石自然ト木
黒天神ノ像ヲ備フ福徳ヲ祈ル者必ス利アリ
對面石 同郡山内ニアリ清和天皇于是行幸

東陽年表卷之十一

行巡上人山下シテ天懸ヲ拜シ玉ノ處ナリ
 因テ對面石車寄ト稱ス
 腰懸石 同所山内ニアリ藤原仲為ノ子幸壽丸
 當寺觀世音ヲ深ク念ジ登山ノ度必此石ニ休
 リ因テ号之ト云傳リ
 座禪石 同所山内ニアリ關成皇子此石上
 二座シテ觀念執行ノ處ナリ
 不動石 同所山内ニアリ石ノ形容自然ト不動
 尊像ナリ祈之感得アリ
 御石 同所山内ニアリ天照太神當山鎮護シ玉
 ノ印ヲ見シムルノ石ト云リ

影向石 同所山内ニアリ關成皇子當山ニ於テ
 般若經ヲ書寫シ玉フ時八幡神此石上ニ影向
 下シクテ淨金水ヲ與玉フ皇子問之神以偈答
 曰得道以來不動性自入正道垂權迹能得解脫
 苦衆生故號八幡太菩薩ト告玉又猶云寫經書
 ノ許ナル事寺記ニ刻書シテ于是畧之
 百濟樹 同所山内ニアリ此樹百濟國ヨリ渡ル
 白檀木ナリ香氣今ニ馨シ
 瓶花木 同所山内ニアリ樹ノ形容自然ト草花
 ノ如シ因テ瓶花ノ号アリ
 愛染木 同所山内ニアリ明玉徳ニ因テ号之

錫杖石

同郡箕面山ニアリ役小角當山ノ瀧ニ

入テ龍樹大士ニ謁スル事ヲ夢テ終ニ伽藍ヲ

搦ノ時此石上ニ錫杖ヲ立テ權迹ヲ殘リ今猶

杖ノ跡アリ寺記其部ニ詳ナリ

座禪石

同所滝ノ窟ニアリ役行者密行ヲ修ス

唐人床巖

同所滝ノ上道ニアリ往昔唐士ヨリ

通路自由ノ時當山ノ滝三國無雙ノ名ヲ傳テ

高麗百濟人渡越シテ此山ニ登リ巖ノ窟ヲ不

得過之故ニ唐人床ノ号アリト云リ

白龍石

同所山内ニアリ當山辨賊天女白龍ニ

乘ジ降臨シ玉フ其白龍化シテ石ト成ヲ以テ

号之、神社考云昔神功皇后征新羅而還埋如

意珠及甲冑弓箭寶劍衣服等故亦曰武庫關目

見之天女乘白龍擁白雲向西南飛去天女大辨

賊天也白龍變石像今猶在此地又是役小角之

舊趾也云、寺記其部ニ然リ

安螢見

同郡伏尾村久安寺山内ニアリ夏ノ暮

諸人群ヲ成リ安ノ号ハ山谷ニアリ

光明石

同所山内ニアリ一名觀音石或ハ大悲

石氏云リ寺記云保延六年ノ冬諸堂一時ニ回

祿ス僧侶本尊ヲ出シ奉ルヘシト燬中ニ入ト

八氏不得所求嗟嘆レテ空ク數日ヲ経タリ或
 夜行堂ノ時山坦ニ光明アリ至テ見之テ手ヲ
 眼大悲ノ尊像巖上ニ在ス呈 迎衛帝終ニ請
 堂再建成リ因テ名石十号ス
 天神石 同郡池田村ニアリ菅神影向ノ靈石也
 木部火 同郡木部村ニアリ多ハ雨夜ニ出ル火
 竟ナリ土俗高入道之火トモ云リ
 一花 能勢郡宿野村正一位宿野神社 延喜式
 來狹狹 境内ニアリ葉ハ葛ニ似テ莖僅式寸可
 冬節小寒ニ至テ始テ葉ヲ生シ立春ノ朝花忽
 開一莖ニ一花綻ブ花形白梅ニ類リ一花發而

天下春也トスル乎世ニ多ク花ノ不知所有
 日菅原苗裔朝臣何某親之嘉歎レテ酒求之呈
 寛文帝觀之畢テ尚書ニ命ジ令記祿之此州夏
 節ニ入テ朽槁又其根ヲ求植ト云凡土地ヲ去
 テ花ノ時ヲ失フ甚奇也トス猶所載子社記詳
 ナリ來狹狹宿野ニ轉スルノ證神社門ニ論之
 不動石 同郡大里村ノ山内ニアリ當山月峰寺
 開闢時羅道者山嶺ニ登テ不動明王ノ咒ヲ誦
 ス于時神劍岩上ニ天降テ月羅ニ與之因テ劍
 尾山ト号ス寺記其部ニ然リ
 七岩 同郡柏原村ニアリ各駭ノ蹄跡アリ

神石 同郡木代村門大夫第宅ニアリ圓ニ尋高
 五尺石神ト崇祭リ常ニ注連ヲ曳テ夜燈ヲ盪
 垢穢ヲ忌リ當家亥子ノ歳事ヲ勸ルノ規式舊
 屋ノ部ニ比ス此莊ニ於テ終ニ雷火ノ災ナキ
 石神ノ徳ニ因ト云リ
 釣鐘石 同郡大丸村ニアリ所傳云貝川三位當
 郷開祭ノ時暫ク是遊歴シテ秘藏スルノ名
 石也大サ方二間形鉦鼓ノ如ク磬之撞鐘ノ響
 アリ因テ釣鐘石ノ号ヲ殘ス今猶存之
 龍王硯石 同郡川尻村ニアリ此石山頭ニ在テ
 豎三尺五寸可石上凹ニシテ常ニ水アリ往昔

弘法大師此水ヲ加持シ當山ハ大龍王神牛王
 寶印ヲ押シム是ヲ以テ硯石ノ名アリ終旱魃
 スル事ナシ龍王叢祠神社内ニ然リ
 難波梅 河邊郡尼崎ニアリ亦同郡難波村ニ名
 ノ梅アリ何モ 仁徳帝皇居ノ地ト云傳ルニ
 寄テ難波ノ梅トスル欬咲ヤ此花ノ製歌難波
 梅ト極タル花ニ非ト云氏世俗古ヲ慕自然ノ
 名所ト成ルモ猶其徳ニ因リ乎
 沖猛火 同所浦邊沖ヨリ浮出ルノ火炎也亨祿
 年中ノ戰死正六位上兼右近衛府生泰武文亡
 魃ノ火也ト云傳フ渡海ノ諸船漁火ヲ疑リ

長輪月 同郡長洲村ノ土俗古ヨリ月ノ名所ト
 シテ長輪ト稱ス秋ノ夕暮月見ノ興アル處也
 高樹楠 同郡南野村ノ禰寺境内ニアリ 聖武
 天皇ノ御宇天平勝室年中行基菩薩毘陽寺建
 立ノ時此樹ノ梢ニ靈光アル事ヲ夢主フ高サ
 廿餘丈ヲ以テ高樹ノ名アリ寺記其部ニ詳也
 塚口藤 同郡塚口村本願寺御堂ニアリ蔓葉四
 方ニ溥リ花ハ地ニ垂リ
 猪名小篠 同郡猪名寺村ノ北ニアリ猪名ノ篠
 原ト讀ル歌ニ因テ云リ非歌原ノ部ニアリ
 萩野火 同郡萩野村ノ野邊ニ出ル火炎也多ハ

雨夜ニ出扇野火トモ云リ
 行基拋岩 同郡山本村ニアリ行基菩薩此邊遊
 行ノ時大岩道路ヲ妨ク旅人ノ苦ヲ助ント側
 ニ拋玉フ石也ト所傳セリ
 鎧石 同郡安倉村ノ邊ニアリ所傳云聖徳太子
 仲山寺州創ノ序此石ヲ觀テ号之安倉ノ倉始
 ハ鞍ニ作ル鞍ヲ安スルノ義ニ因テ鎧石アリ
 ヤ地名記ハ村ノ部ニ論之
 大將軍 同所田圃培壤ノ地名ニアリ昔此邊ハ
 往來スル者跪時ハ片袖ヲ放捨不捨之必死ス
 ト云リハ將神ノ尤トスルモノ歟

長洲村ノ土俗古ヨリ月ノ名所ト

聖武

麗馬石 同郡仲山寺山内ニアリ聖徳太子當寺
州訓人時驪二乘飛行シ王ヒ暫ク世石二馬
蹄ヲ休シム其四足ノ趾今ニ然リ
仲山火 同所ニアリ俗傳云世火嶋上郡山崎ヨ
ハ出テ仲山寺ニ来ル事毎夜ナリ昔當山ノ寺
僧上洛シテ歸寺ニ赴ク時賊徒塞道僧意念シ
テ觀自在ノ法ヲ修シ秘文ノ誦シ忽爾アリ賊
徒恐之終ニ懺悔シテ罪ヲ許王ヘト請僧免之
其惡業ヲ謝セント夜燈ノ油ヲ寄進ス是ヲ持
セ運シム人其油ヲ分盜テ私用トス死テ後償
之罪障ノ火炎是ニ通来ト云傳タリ

白鳥石 同所山内ニアリ 應神天皇ノ兄忍熊
王子並ニ大仲姫遺體白鳥ト寔ジ飛テ石ト化
シ靈水涌出スルノ神石也寺記其部ニ然リ
腰懸石 同郡矢間村アリ 多田源滿仲公暫ク
表景ヲ遊覽シ玉ノ石ノ臺ナリ
鳥帽子岩 同所ニアリ形容ニ因テ号之
鱧火 同郡多田村鱧火ニアリ世火人ノ容
シ現シ或時ハ半ヲ牽キテ火ヲ携出不知之人
其火ヲ請テ烟州ヲ吹相語ル事尋常ノ如シ曾
テ不成熊知テ欲計之遠ク去リ多ハ兩夜ニ出
ル火炎ナリ狸火トモ云リ

阿字岩 同郡多田莊夫問村ニアリ弘法大師号
 テ阿字ノ梵字ヲ書シ給リト云ノ所傳タリ
 龍馬石 同所ニアリ源滿仲公龍馬ノ蹄ノ趾ヲ
 殘シ号之石ナリ
 鳥帽子石 同郡東多田村ニアリ因形号之
 東方岩 同郡平井村ニアリ最明寺滝ノ八景其
 一景ニ比ス東方ヲ以テ号之
 西方岩 同所ニアリ西ノ方ヲ以テ号之
 般陀石 同所滝ノ肩ニアリ石ノ臺ニ足趾アリ
 土俗釋迦如来轉法輪所ニシテ後世ニ其印ヲ
 殘玉フ足趾也ト云傳リ

善薩頭 同所巖ノ名ニアリ所傳善薩景向ノ處
 也ト云リ一名薩柱頭トモ云リ
 千步沙 同所ニアリ瀧ノ流千歩ノ平沙ヲ以テ
 号タリト云リ
 屏風岩 同郡北田原村大井ノ山内ニアリ木巖
 屏風立タルニ似タリ因テ号之
 鬼之門 同所ニアリ大巖ヲ以テ山谷ニ瀆レ雨
 シ覆石ヲ堅テ柱トシ所造也ト云傳リ
 ノ礎ヲ以テ鬼神ノ所造也ト云傳リ
 酢子岩 同郡松生村ノ山嶺ニアリ因形号之地
 名モ亦酢子峠ト云リ

長島群島卷下

一

袖^{カサ} 武庫郡西宮東出口ノ地各ニアリ

釜^{カマ} 同郡越水村ニアリ岩ノ形似タルヲ以テ号^{ナリ}之^{ナリ}山^{ナリ}海^{ナリ}宗^{ナリ}鑑^{ナリ}此^{ナリ}岩^{ナリ}ニ題^{ナリ}シテ照^{ナリ}即^{ナリ}武^{ナリ}蒸^{ナリ}ホト

暑^{カサ} キ釜^{カマ} 觀^ミ 岩^{イハ} ト而^{シテ}興^キ ノ句^{コト} ヲ吟^カ シタル處ナリ

硬^{カシ} 石^{イシ} 免^メ 原^{ハラ} 郡^ノ 住^ス 吉^{キチ} 村^ノ 住^ス 吉^{キチ} 神^{カミ} 前^ノ ニアリ石ノ頭^{カサ} 凹^カ

ニシテ水溜^{ミヅヅマ} 在^リ テ常^ニ 水^ノ ナク天^ノ 水^ノ ヲモ不受^ラ 毎^ニ

歲^{トシ} 六^ノ 月^ノ 土^ノ 用^ノ ノ入^ル 式^ニ 至^ル テ自^ラ 然^ニ ト水^ヲ 溜^メ 本^ノ 俗^ニ

時^{トキ} ヲ知^ル リ甚^ニ 奇^キ 也^ト ス

天^ノ 狗^ノ 岩^ノ 同^ニ 郡^ノ 笹^ノ 原^ノ 村^ノ ノ山^ノ 内^ニ アリ天^ノ 狗^ノ 岩^ノ 窟^ノ

ニ遊^ブ コトアルヲ以^テ 号^ス タリト所^ノ 傳^フ ス

龍^{リウ} 燈^{テウ} 火^カ 同^ニ 郡^ノ 芦^ノ 屋^ノ 村^ノ ノ沖^ノ ニ見^レ ル火^也 海^中 ノ鱗^ノ

神^{カミ} 龍^ノ ヲ祭^ル ル火^也 ト云^フ 傳^フ リ

有^リ 馬^ノ 潮^ノ 同^ニ 所^ノ 磯^ノ 邊^ノ ヲリ沖^中 ニアリ有^リ 馬^ノ 郡^ノ 有^リ 間^ノ

温^ニ 湯^ノ ハ紀^ノ 州^ノ 熊^ノ 野^ノ 神^ノ カヲ以^テ 潮^ヲ 起^ス 工^ノ 鹽^ノ 湯^ト

成^ル テ和^シ 之^ヲ 衆^ノ 生^ノ 疴^ノ ノ患^ヲ 救^ム 玉^ヲ フ因^テ 紀^ノ 伊^ノ

南^ノ 海^ノ ヲリ潮^筋 虹^ノ ノ如^シ テ時^{アリ} 神^慮 巖^然 ノ

奇^キ 妙^ト 今^モ 猶^モ 絶^セ ガリ因^テ 有^リ 間^ノ 潮^ト 号^ス ルノ所^也

傳^フ タリ往^ク 昔^ハ 有^リ 馬^ノ 温^ノ 泉^ノ 寺^ノ 奥^ノ 隆^ト 号^ス ケ藥^ノ 師^ノ 堂^也

在^リ テ僧^ノ 窟^ノ 温^ノ 泉^ノ 山^ノ 出^テ 月^次 參^ノ 籠^ノ ノ事^{アリ} 後^也

世^ノ 破^レ 壞^シ テ印^ハ カリト成^リ

雲^ノ 内^ノ 杜^ノ 丹^ノ 同^ニ 郡^ノ 熊^ノ 内^ノ 村^ノ ノ民^ノ 家^ニ アリ色^ノ 紫^ニ シ

テ花^ノ ノ渡^リ 尺^ニ 及^リ 高^サ 一^丈 可^ク 莖^ノ ノ太^ク 五^寸

蕪の敷アリ熊内村ヲ雲内ト云ノ處ナリ

駒繫石 夫田部郡神戶部邊ニ依ル村ニアリ壽

永年 梶原平三景時馬繫タル石ト云傳リ

籠梅 同郡生田宮村生田神社側ニアリ壽永年

中ノ軍ニ薩摩守忠度卿此梅ヲ伐採籠ニ指旅

宿ノ題ノ和歌ヲ書タル短冊附シ古木也ト也

二昔ノ所知也忠度卿ノ戦死所載于東鑑古戦

場ノ部ニ引書セリ

敦盛秋 同所ニアリ大夫敦盛卿愛此秋和歌ヲ

依リ熊谷次直實ニ送ルノ俗語アリ敦盛熊

谷壽永軍記東鑑ノ本文古戦場ノ部ニ論之

白梅 同郡東尻池村真野經橋ノ東ニアリ昌泰

四年菅家大宰權帥ニ尤遷ノ時和田碕ニ船ヲ

留順風ヲ待テ王ノ此梅ノ香ヲ尋テ于是來リ愛

之名木也ト所傳セリ

神馬村 同郡兵庫津和田地ニアリ昔神功皇后

征新羅歸朝ニ給テ暫ク船ヲ此岬ニ繫ノ時有

又秣ヲ獻ス因テ皇后第三子應神天皇廟山城

國雄徳山八幡神供ト成ル事于今然ト云リ

若木櫻 同郡湊六村福禰寺ナキ也境内ニアリ

大夫敦盛卿此櫻ヲ愛シテ所題之也亦敦盛卿

ノ美容ニ准テ号之或ハ老樹不朽花猶美ヲ以

唐檀岩 有馬郡唐檀村ニアリ所傳云神功皇后
 腰懸石 同郡丹生山田莊東下村ニアリ壽永年
 中源義經公一谷ノ戰場ニ赴王ノ時常莊鷲尾
 何某ヲ召テ彼山谷ノ要害ヲ尋ノ序暫ク此石
 ニ腰ヲ休玉フ處ヲ以テ号之所謂夕批石
 事故實ノ明ナルヲ以テ謂之故
 漢竹 同所山内ニアリ昔神功皇后征新羅之時點
 ヲ鉤得玉フ竿其處ニ捨玉ハス歸朝シテ干是
 埋シム枝葉繁榮テ今猶根本溥其末世ニ廣ト
 云ノ所傳タリ皇后鉤ヲ垂玉テ點魚ヲ得玉フ
 是ニ留ル互ニ二十歩ノ間隔スルト云氏向ト
 相並ルガ如シ石ノ形容モ亦相同ジ号テ夫婦

新羅ヲ征シ還テ甲冑ヲ箭寶劍衣服等ヲ石ノ
 檀ニ入テ當山ニ埋藏シ以テ地名唐檀ト号ト
 云リ此處武庫ノ山中ニ續リ後世有馬ノ郡内
 ト成リヤ混合シテ所不能詳ク也
 夫婦岩 同郡藍本莊ノ町邊田圃ノ中ニアリ俗
 傳云往昔此處ニ夫婦相談テ睦ク相思フ事久
 方ノ雨ニシテハ比翼ノ鳥地ニアラハ連理ノ
 枝ト契リ美積テ後我死バ彼死ニ彼死バ我死
 ベシト云通テ終ニ果又二人氏ニ石ト化シテ
 是ニ留ル互ニ二十歩ノ間隔スルト云氏向ト
 相並ルガ如シ石ノ形容モ亦相同ジ号テ夫婦

岩ト云リ男女縁ヲ結、神石トシテ祈之云リ
旗立石 同郡付物村ニアリ壽永年中源義經公
一谷ノ戰場ニ赴ノ時暫ク是ニ旗ヲ靡ノ處也
百丈巖 同郡生野村鏡倉谷ニアリ高サ數十尺
巡リ數十歩一國無雙ノ大巖也最明寺入道時
頼公暫ク遊歴ノ處此岩ニ登テ美景ヲ求玉フ
一説岩臺百疊ヲ數ルヲ以テ号シ氏云リ今亦
百丈トスルハ其廣大ナルヲ量テナリ
幡立石 同郡大音所村ニアリ筑紫守佐八幡神
白馬ニ乘シ飛行シ玉フ時神幡ヲ飛シメ降ル
所此石上ニアリ社家ノ傳記詳ニシテ神社門

二比セリ因テ于是畧之
鈴石 同所ニアリ駒守佐八幡社記ニ所載之也
氷柱岩 同郡小柿村ノ後ニアリ岩ノ形氷柱ニ
似タルヲ以テ号シ之ト云リ
能登矢竹 同郡畑莊ニアリ能登守則經八嶋ノ
戰場ニ赴ノ時此竹ヲ伐テ矢筈ヲ製ス其竹林
後世ニ絶携子箭士所設之也ト所傳セリ
最明寺櫻 同郡桑原村欣勝寺院中ニアリ最明
寺入道時頼公鏡倉谷ニ遊歴ノ序此花ヲ愛シ
玉フヲ以テ号之所傳タリ
鳥帽子岩 同郡山田村鑄射寺ノ邊ニアリ因形

抛岩 同前同道端ノ山崖ニアリ弘法大師温泉
 二赴王ノ時此岩道ヲ妨旅人ノ煩十成リ十是
 二抛揚道ヲ廣ス洪水岸ヲ崩レ云凡不落云
 今猶然リ見火光ニナス
 猿首岩 同郡生瀬村ニアリ形猿・似テ首ノ如
 處自然ト眼耳鼻口ヲ備タリ因テ猿首ト号ス
 家隆舊栖松 東生郡天王寺勝覺院ノ後ニアリ
 俗傳ニ云ク家隆卿難波ノ浦見ニ下假ノ宿リ
 シケル舊跡ニ松一木ノミ残レルク家隆ノ松
 十云傳ル下云リ亦俊成ノ舊栖也凡云リ猶舊
 屋ノ部ニ證歌アリ

馬繫松 同郡天王寺一心寺境内ニアリ 東粟
 神君駒繫セ玉ノ松樹ヲ以テ号之寺記祥ナリ
 郡官松 西成郡大和村ニアリ大坂ヨリ冠崎
 へ渡瀨スルニ見ル土俗ノ傳ニ云源義経西國
 ニ赴ク時爰ニ於テ旅行ノ勞ヲ休メ我一度運
 ヲ歸ナバ枝葉蒼々リ青緑世々ニ榮ン事ヲ誓テ
 儼ナル松ガ枝ヲ伐テ地ニ指今ノ世マデ残レ
 リト云リ亦一説松ノ揚枝ヲ指リ凡云習セリ
 渡邊松 同郡福嶋村梅田川ノ岸ニアリ俗傳云
 渡部綱ガ楡タル松ト云リ亦渡部福嶋ト地名
 ノ續キニ寄而已歟

松竹梅歳時記

卷四

老松 同郡天満老松町ノ民家ニアリ俗傳ニ云
住吉太神影向ノ松ニテ往昔樹下ニ祠アリ仍
テ住吉町ト号又枝葉ヲ楷ンテ伐採ノ輩必罰
アリ驚恐レテ迄歳石ヲ疊ミ垣トナシテ崇敬
ス今老松町ニ轉ス
山伏松 同郡本庄村ニアリ俗傳ニ云昔此所ニ
於テ竈法ヲ修スル山伏アリ惡意ヲ以テ人ヲ
疾ミ己カ爲ニ此松ニ登ツテ咒咀スルコト一
七日天是ヲ許サズ申松ガ枝ニ立禁死ス後ニ
亡火ト成テ夜毎ニ飛テ往來ヲ留ム今ハ名耳
殘ルト云リ

一本松 同郡野里村ニアリ大和田ノ判官松ニ
同シ敬ニ威有テ枝葉誤テ伐採有必罰アリト
云傳リ
行基松 住吉郡住吉ニアリ俗傳ニ云行基泉列
ノ産暫ク爰ニ寓居シテ自植歲積積ル事久ク
ンテ枝葉靜苔松露滴ナリ
判官松 同郡同所ニアリ俗傳ニ云義經西國ニ
趣ク時海上風波穩ニ再武運ヲ関カシメ給ヘ
ト住吉太神ニ祈リ暫ク松ノ下ニ遊ブ是故ニ
判官松或ハ腰掛松云云云リ
笠松 同郡平野莊權現宮ノ境内ニアリ熊野權

杖陽群記卷第十七
三

現影向ニテ機ヲ照スコト神社門ニ載松樹枝
 葉生茂リテ木影ヲ頼ム旅客雨漏ノ壘ナシ是
 シ以テ笠松ト云俗傳ナリ
 笠懸松 同所泥堂ト云地ニアリ權現影向ノ時
 此松ガ枝ニ笠ヲ懸シ故笠掛松ト云トイヘリ
 一説昔戰場ヨリ遁レ去者此松ノ木ニ追識ラ
 レテ終ニ戰死ス是緣ヲ以テ追懸松ト云リ
 大悲松 鴻上郡眞上村靈松寺境内ニアリ
 寺記ニ云富院其始行基自地藏尊ヲ彫刻シテ
 安置シ地藏院ト号セリ中興妙應禪師庭上ノ
 松樹夜毎楠ヲ照スコト赫々タルヲ見ル禪師

其老源ヲ尋子テ大悲ノ鑄像ヲ得タリ故ニ靈
 松寺ト成リ千載ノ老松于今縁ヲ生ル因テ号
 テ大悲松ト云委ハ猶寺院ニ然リ
 下松 同郡鳥飼村ノ西ニアリ俗説判官松ト同
 シ西國下向ヲ以テ下松ト云ト云リ一名義經
 松トモイヘリ一名躍松ト号ス初秋松下ニ
 八部松 同郡大澤村根本山神峯山寺山内ニア
 リ所縁寺記ニ見エタリ
 影向松 同所山内ニアリ故縁右ニ同シ
 笠松 鴻下郡安蔵村將軍塚ノ上ニアリ枝葉四
 布ニ茂リ軒ツテ塚ノ上ニ覆ヘルヲ以テ笠松

ノ名アリト云リ
行基松 同郡佐井寺ニアリ行基自植ルヲ以テ
松ノ名トスルト云リ
投松 豊鴻郡畑村ニアリ西成郡福鴻村ノ堤ヨ
リ北ニ當テ山頭ニ黒ク見ユ隔ル事五里餘土
俗ノ傳ニ云ク或人決山内ニ入テ樵行脚ノ僧
麓ヲ過ル時松ノ枝折テ道ヲ妨ク僧是ヲ取テ
山頭ニ投ル枝葉朽スシテ青緑ヲ増是則弘法
大師ナラント云テ余ニ至ルマテ弘法ノ投松
ト云郡ハスト云リ
緋松 同郡池田村異服官ヨリ起ル山頭ニ

リ社家記ニ云ク兵織穴織ノニ女神吳國ヨリ
我郡ニ至テ妾ニ於テ緋ヲ繫テ裁縫ノ道ヲ知
シム其未業ヲ殘シ植テ緋松ト云リニ女神
勲臨ノ事日本紀本文等神社門ニ載シ
勲好松 同所ニアリ俗傳ニ云ク兼好法師假居
シテ木陰ニ宿リス仍テ松ノ号ト成リ猶古跡
門ニアリ
笠松 同郡伏尾村久母寺ノ東北ニアリ古松枝
彌リ形笠ノ如シ旅客兩ヲ凌ヲ以テ笠松ト号ス
藤行松 同郡下穂積村ニアリ松ノ枝葉四方ニ
彌リタルニ依リ神祠ヲ蛇住ルヨシ

長陽詳談卷第十二
三七

西方松 同郡勝尾寺境内ニアリ枝葉悉ク西ノ
方ニ靡ク是ヲ以テ西方松ト云元亨釋書ニ所
載寺記ニ然リ
禮拜松 同所ニアリ寺記ニ云ク此女妙觀合掌
シテ化觀音之靈應也云云此松ノ權ニ合掌礼
拜スルヲ以テ松ノ名ト成リト云リ
子取松 同所ニアリ俗傳云ク此松ノ下ニ義經
掘原影時ノ古墳アリ武勇ヲ以テ松ノ名ヲ殘
スト云リ
三光松 同郡箕面寺ノ境内ニアリ本俗ノ傳ニ
云ク三葉ニシテ如モ其色美ク日影ニ懸ラズ

テ三光ノ名アリ亦役行者當山ニ登テ聖地ヲ
知ントテ自三鈴ヲ空中ニ飛シム此松ノ權ニ
留ルヲ以テ三鈴ノ松ト云トモ云リ
布懸松 川邊郡多田院村ニアリ本俗ノ傳ニ云
此松自然ト布ヲ懸ル事アリ其布ヲ取得ント
樹下ニ行者必命ヲ落スト云傳リ
阿古屋松 同郡昆陽ノ庄内ニアリ所傳未考ト
云氏當卿舊跡ト云習セリ歌ノ名所阿古屋ノ
松ハ陸奥國ニアリ
兩乞松 能勢郡木代村鷹岡山ニアリ古松枝ヲ
垂青苔滑ナリ果懸シテ田圃枯野ノ如クナリ

二及テ村民愁之此松樹下ニ於テ祈雨必陰
雨洪水スト云リ
影引松 同郡切畑村ニアリ所傳ニ云ク昔此松
樹ノ下ニ石像ノ地藏アリ光明四方ニ放子適
ニ西海ヲ照ス鱈鱗ニ寄スニテ漁者歎之其
光源ヲ尋子安ニ至リ石像ニ祈ル于時光明古
松ノ影ニ陰レ尊像モ不見時人影引松ト云リ
判官松 有馬郡加茂村ノ西ヨリ山陰道ニ行街
道端ニアリ土俗ノ傳ニ云ク源義經一ノ谷ノ
戰場ニ赴ク時安ニ於テ松ノ枝ヲ伐テ地ニサ
シ道路ノ等類ト成仍テ一名枝折松ト云リ枝

兼榮工歳霜積ル事久ク半朽テ人ノ住家成
ヌベキトイヘ尺赤枯
一本松 同郡長坂ノ地ニアリ高サ十間餘太サ
三尋ニ餘レリ枝兼造リ木ノ如シ諸木見ル人
ナシ只此一本ノミヲ以テ長坂一本松ト云リ
相生松 同郡香下村ニアリ太サ一尋ニ餘リ高
サ九尋餘土際ヨリ三尺計登テ男松女松尤右
ヘ分レタルヲ以テ相生ノ松ト云リ
三本松 同郡屏風村ニアリ一本ハ太サ三尋餘
高サ十丈二本ハ太サ二尋餘高サ八丈三本一
所ニ有ヲ以テ三本松ト云リ俗傳ニ云ク關白

秀言公播列三木ノ城へ發向ノ時下枝ヲ伐採
其跡贅人如クニ成リ爰ヲ以テ一名贅松
氏云リ山神是ヲ惜ンテ落葉ヲ把ス
湯元松 兎原郡蘆屋村ニアリ俗傳ニ云、往昔此
所湯元ノ藥師ト号ケ寺院アリ有馬温泉ノ潮
野權現ノ神力ニテ南海ヨリ當浦ニ引号
テ有馬潮ト号ス温泉山ノ僧坊月次參籠入り
後世伽藍破壞シテ草堂ト成リ昔ク松一木殘
レリ仍テ湯元ノ松ト云リ
躍松 同郡漆江村ニアリ今森村ノ神社稻荷ノ
神幣當浦ニ流レ寄此松ノ下ニ迎へ躍ヲ拍子

テ神ヲ諫メシム毎年四月神拜アリトイヘ
羅ハ終ニ止又猶神社門ニ詳ナリ
宿松 同郡服濱村ノ西ニアリ昔此所西國ニ通
フ旅宿アリ因テ宿松ノ名ヲ殘セリ
天神松 矢田郡郡須村民家ヨリ南海面ノ方
森ノ中ニアリ俗傳ニ云、菅家築紫ニ遠流セラ
ル、時此濱邊ニ船ヲ留メ風波ノ難ヲ凌グ纜
ヲ此松ノ下ニ曲テ座スル事暫アリ仍テ以テ
天神松ト云、其後夜々ニ海中ヨリ燈ヲ捧グ此
故ニ一名龍燈ノ松トモイヘリ天神勸請ノ祠
神社門ニ出

腰懸松 同郡須賀寺門前ニアリ俗傳ニ云本三
 位中將重衡卿ノ腰掛松ナリトゾ今ハ枯テ名
 取殘セルモ猶哀ナリ
 遠山松 同郡須賀寺ノ後ノ山ニアリ本俗ノ傳
 松風ノ謠ニ寄ルト云リ可笑ヤ因幡山ノ後ノ山
 ナント云モ此邊ニアリ皆山類ニ比ス
 磯馴松 同郡東尻池村ニアリ並木ノ松ヲ惣テ
 云リ行平卿須賀ニ配流セラレシ時愛セラル、
 ラ以テ袖馴松ト云トイヘリ
 行平松 同郡東須賀村ニアリ俗傳ニ云行平卿
 ノ植シ松歸洛ノ名殘ヲ惜ニ枝葉悉東ニ薙ク

トナリ本一木ニ生ジ半ヨリ相生ト成リ
 三品彈正尹贈一品阿保親王御子大江音人在
 原行平守平仲平業平五男也行平仁和三年配
 流須磨正二位民部卿中納言權師在納言ト号
 スト云リ 三代実録第三十七云元慶四年五
 月廿八日辛巳天長三年詔仲平行平守平等贈
 姓在原朝臣業平體貌閑麗放縱不拘畧無才覺
 善作和歌云
 盗人松 同郡野田村ニアリ昔ハ松二本也一木
 ハ朽テ一木今ニアリ高サ七間ニ餘レリ太サ
 四尋餘ニシテ相生ナリ袖ニモカハル沖津向

波ト讀ル歌ニ寄ルト云リ盜賊ヲ白浪ト云ル
松海岸ニ在テ白波ノ懸ルヲ以テ盗人松ト云
欽一名楠松共云リ

飛松 同郡板宿相ニアリ俗傳ニ云菅家築紫ニ

遠流ノ時淀川ニ纜ヲ解爰ニ至ル丞相常ニ梅

櫻松ヲ愛ス艸木情ナシトイヘ尺梅ハ飛テ紫

紫ニ至ル櫻ハ朽テ松耳殘ル難面サヨト云モ

敢ス松是ニ飛留ルベクモ非ス終ニ船ヲ浮フ

松モ亦枯テ失又土俗舊跡ヲ惜ニ一木ノ松ヲ

植テ名ヲ今ノ世ニ残スト云リ
鐘懸松 同郡大手村ニアリ源平一ノ谷合戦ニ

時ノ鐘ヲ此松ノ枝ニ釣因テ鐘掛松ト云リ

源氏松 同郡駒林村ニアリ高サ丈餘本ニ尋ニ

餘レリ枝五六間四方ニ蔓ル婦松夫松ニ葉ニ

出ル故一名ニ葉ノ松凡云亦一名茶筍松トモ

云リ松葉細ヤカニシテ茶筍ヲ見ニ似リ亦源

氏物語須磨明石ノ卷ニ依テ松ノ名凡セリ或

ハ一ノ谷ノ戰場ニ赴ク源氏ノ諸勢樹下ニ群

居スルヲ以テ源氏松ト云或ハ古葉松凡云リ

月見松 同郡東湊六村北ノ平山ニ松ハ一

木ニ非ス惣テ並木ノ森ヲ云行平是ニ於テ月

ヲ詠ム其景色他ニ勝レタリ

境松 同郡兵庫ノ西境川ニ遊シ櫻津播磨兩國ノ境ナリ是ヲ以テ境ノ松ト云深キ謂ナシ以上所立部十二郡中ニ於テ悉ク雖拾之出俗来由ヲ所不辨或ハ所不知所有或ハ混合難分亦知之所漏多ク以テ小智國々大諺ヲ集訂考之不明如手手足之有所不及足追而可加之之

攝陽群談卷第十七 林尾

文典堂藏板目次

部類歌合	三十一冊	或問珎	六冊	孝文行各	一冊
攝陽群談	十七冊	唐詩鼓吹	十一冊	金玉岡文章	一冊
唐詩註解	五冊	唐詩正顯	五冊	花初性春	一冊
本事方	十冊	鑿林名教	五冊	奇以今川平本	一冊
續本事方	十冊	肘後方	五冊	寺沢書札文章	一冊
錢氏小兒方	八冊	奇効良方	五冊	庭訓佳来	一冊
傷寒歌	四冊	神道憶原州	一冊	今川勝越	一冊
古語拾遺系家	四冊			四天寺各所志	一冊

書林

大坂新町福小濱町
向井八三郎板行

